

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 1

平成30年 **5**月の**思いやり**通信



エコライフ — 日本の家に見られる工夫 縁側

・伝統的な日本式の木造住宅は地面よりも何十センチか高くなっていて、縁側が設けられています。床下や部屋の周りに空気の層がつくられて、熱が家の中にそのまま伝わらなくなります。

・空気は固体や液体のもの比べると熱伝導率が低いため、空気の層は断熱材の役目を果たしたり、放射熱や対流熱をコントロールする役割を担ったりします。

・ただし、空気には動くという特徴があるので、断熱材よりも空気層の方が断熱効果が高いというわけではありません。

・木は耐久性には劣るのですが、断熱の素材としては優れていて、木製の雨戸の断熱効果は高くなります。

・木製の雨戸には、太陽の熱が部屋に入るのを防ぐ効果があります。木製の雨戸を閉めれば窓の外で光が遮られるうえ、熱の伝導率も低いので、暑い時に熱が家に入る量を減らすことができます。

(高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)

